

---

須賀川地方新ごみ処理施設建設運営事業  
落札者決定基準書

---

平成 27 年 5 月 29 日  
須賀川地方保健環境組合

## 目 次

第 1 落札者決定基準書について .....	1
1 落札者決定基準書の目的 .....	1
2 事業者選定の手順 .....	1
第 2 審査の機関 .....	4
第 3 資格審査.....	5
1 参加資格の確認 .....	5
2 審査の流れ .....	5
第 4 基礎審査.....	6
1 審査の項目 .....	6
2 審査の流れ .....	6
第 5 総合評価.....	7
1 審査の方法 .....	7
2 価格要素審査 .....	7
3 非価格要素審査 .....	8
4 総合評価.....	10

## 第1 落札者決定基準書について

### 1 落札者決定基準書の目的

組合は、本件施設の設計、施工を行う建設事業と、長期間にわたり運転、点検・検査、補修及び更新などを行う運営・維持管理事業とを合わせ、一体的に民間事業者が行う手法（DBO方式）を実施するに当たり、価格及びその他の提案（性能、機能、技術など）を総合的に評価する、総合評価一般競争入札によって、落札者を決定する。

この落札者決定基準書は、総合評価一般競争入札により落札者を決定するため、入札参加者から提出された提案書類について、客観的に評価する基準として示すものである。

### 2 事業者選定の手順

本件事業における事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、次頁の図1に示す手順で実施する。

#### (1) 第1段階 資格審査（7月下旬）

組合は、入札参加者から提出された資格審査申請書類を基に、入札参加者が「参加要件」を満たすことを確認する。

#### (2) 第2段階 基礎審査（10月下旬）

ア 組合は、資格審査に合格した入札参加者に、提案書類の提出を求める。

イ 組合は、提案書類に不備がないか確認する。

ウ 組合は、提案書類について、要求水準書などに記載された組合が求める条件を満足していることを確認する。

#### (3) 第3段階 総合評価（11月下旬）

事業者選定委員会は、非価格要素提案図書について、審査基準に従い、事業者選定委員会で採点を行い、価格要素審査結果と合わせて総合的に評価を行った上で落札候補者を選定する。組合は、事業者選定委員会の落札候補者の選定結果を踏まえ、落札者を決定する。

##### ア 非価格要素審査

本件施設における施設整備及び運営の基本方針に基づき設定する、各評価項目について評価する。施設整備及び運営の基本方針は、以下に示すとおりである。

##### <施設整備の基本方針>

- (ア) 周辺環境に配慮した施設
- (イ) 経済性に優れた施設
- (ウ) 安全性、安定性に優れた施設
- (エ) 資源循環に優れた施設
- (オ) 住民に信頼される施設

<施設運営の基本方針>

- (ア) ごみの適正処理
- (イ) 環境配慮
- (ウ) 安全確保
- (エ) 経済性への配慮

イ 価格要素審査

組合は、入札書に記載された入札金額が以下について設定する予定価格をそれぞれ超えていないことを確認する。その結果、入札金額が予定価格を超える場合は失格とする。

- (ア) 設計・建設業務に係る予定価格
- (イ) 運営・維持管理業務に係る予定価格

なお、予定価格は以下とする。

予定価格 17,769,000,000 円（消費税及び地方消費税を含まない。）

うち、設計・建設業務に係る予定価格

9,069,000,000 円（消費税及び地方消費税を含まない。）

うち、運営・維持管理業務に係る予定価格

8,700,000,000 円（消費税及び地方消費税を含まない。）

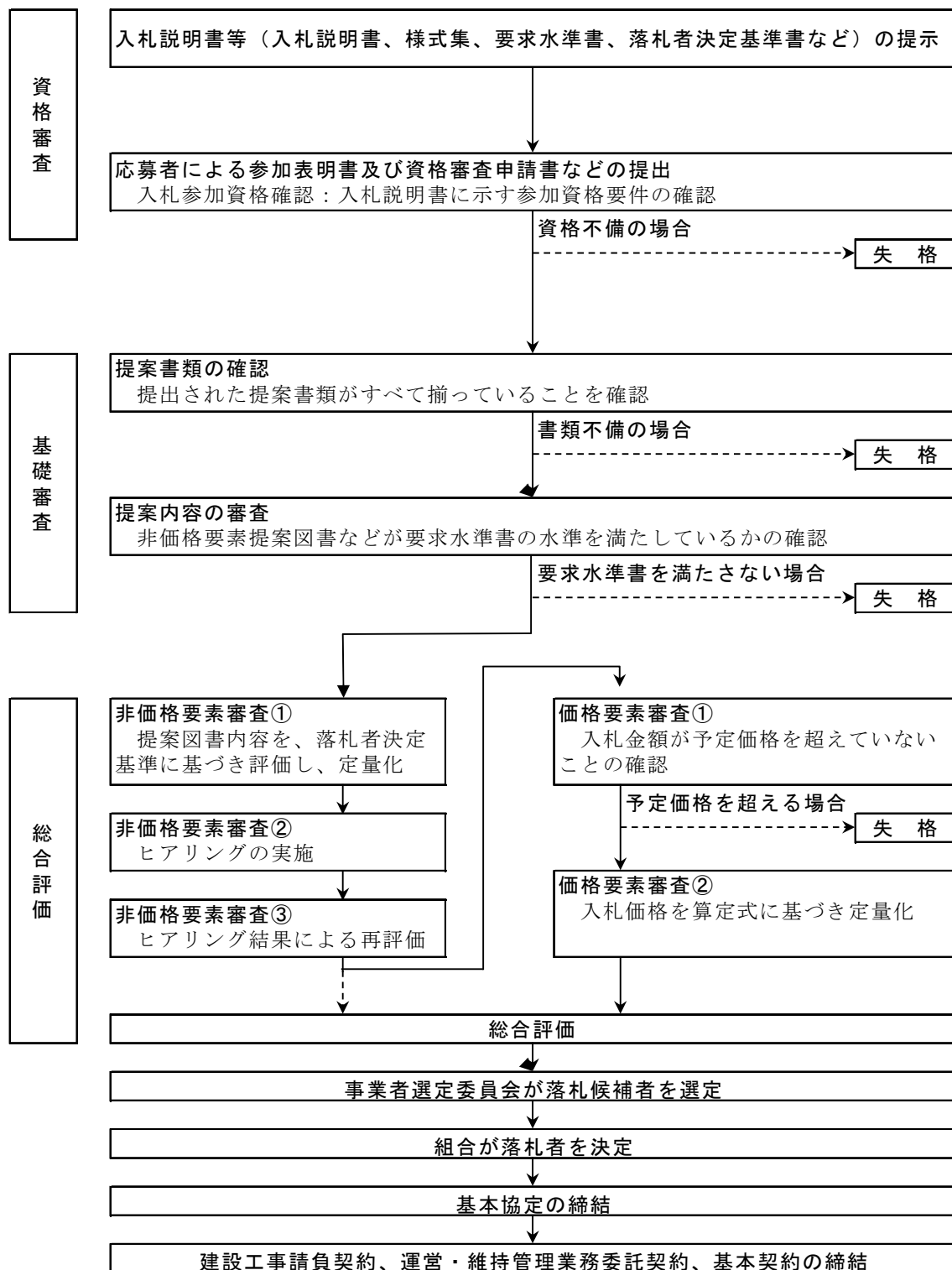


図 1 落札者決定の手順

## 第 2 審査の機関

組合は、技術審査などを公平かつ専門的知見に基づいて実施するため、次に記す委員構成の事業者選定委員会を設置している。

委員長	荒井 喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長
副委員長	浅里 和茂	日本大学工学部 建築学科 教授
委員	川越 清樹	福島大学 共生システム理工学類 准教授
委員	安藤 和哉	須賀川市建設部長
委員	飛木 孝久	須賀川市生活環境部長

## 第3 資格審査

### 1 参加資格の確認

参加表明書と同時に提出される入札参加資格確認書類から、入札参加者が入札説明書「第3 1 入札参加者の参加要件」に規定する要件を満足していることを確認する。

参加資格認定基準日は、平成27年7月10日（金）とする。

### 2 審査の流れ

参加表明書及び入札参加資格確認書類から参加資格要件について確認し、その結果を代表企業に対し通知する。

## 第4 基礎審査

### 1 審査の項目

提案書類に記載された内容が、次の基礎審査項目を満たしていることを確認する。

#### (1) 提案書類の確認

提出された提案書類がすべて揃っていること。

#### (2) 提案内容の審査

##### ア 共通事項

(ア) 提案書類全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾などがないこと。

(イ) 提案書類全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限など）となっていること。

##### イ 非価格要素提案図書

提案の内容が要求水準書などに記載された組合が求める条件を満たしていること。

### 2 審査の流れ

- (1) 提案書類から、基礎審査項目の内容を満たしていることを確認する。
- (2) 基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。
- (3) 基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、提案書類に記載された内容について、定量化審査を行う。



## 第5 総合評価

### 1 審査の方法

提案書類に記載された内容について、次の手順に従い審査する。

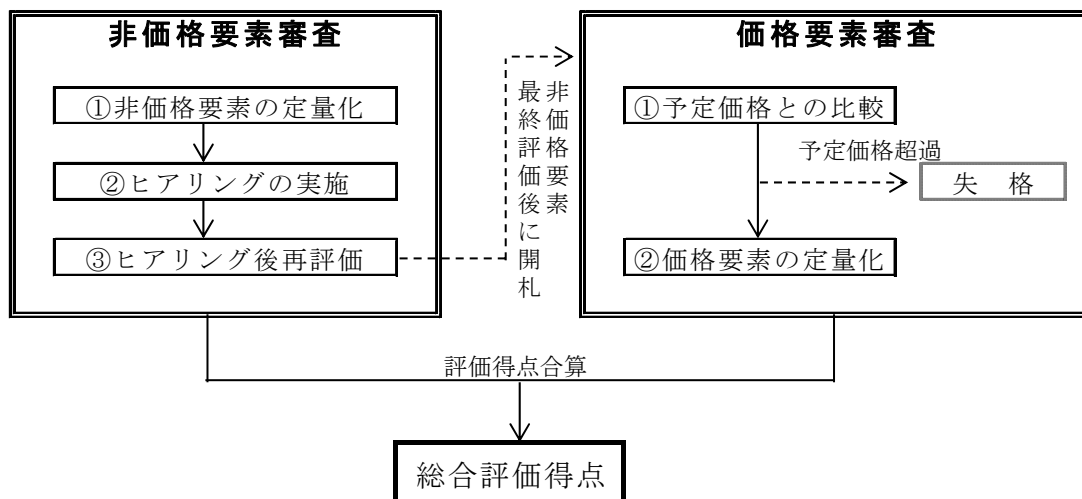


図2 総合評価の手順

### 2 価格要素審査

提案書類に記載された内容について、次の審査方法に従い定量化する。

#### (1) 入札価格の確認（価格要素審査①）

非価格要素評価後に開札を行い、入札参加者の入札金額が予定価格を超えていないことを確認する。入札金額が予定価格を超える場合は失格とする。なお、最低制限価格は設定しない。

#### (2) 価格要素に関する得点化方法（価格要素審査②）

価格提案に関する得点化方法は、入札金額（様式第13号に記載する金額をいう。）について、次の算定式により得点を付与する。

なお、得点は小数第3位を四捨五入した値とする。

$$\text{価格要素の得点} = \text{価格要素の配点} \times \frac{\text{最低入札金額を提案した入札参加者の入札価格}}{\text{各入札参加者の入札価格}}$$

※算出例

- ・ 価格要素の配点 : 80点(満点)
- ・ 入札参加者の入札価格 : A社 150億円、B社 200億円、C社 170億円

入札参加者Aの価格要素得点 = 80点 × (150億 ÷ 150億) = 80.00点

入札参加者Bの価格要素得点 = 80点 × (150億 ÷ 200億) = 60.00点

入札参加者Cの価格要素得点 = 80点 × (150億 ÷ 170億) = 70.59点

### 3 非価格要素審査

#### (1) 非価格要素の得点化（非価格要素審査①）

- ア 提案を求めている評価項目においては、表 1 に示す 5 段階評価による素点の積上により素点評価点を付与する。
- イ 本件施設における施設整備及び運営の基本方針に基づき表 2 の評価項目を設定する。
- ウ 非価格要素審査における評価を各委員で実施する。

表 1 非価格要素の得点方法

評価	当該項目における評価の意味合い	素点評価点
A	特に優れた追加要素を提示している提案	配点×1.00
B	A と C の中間程度	配点×0.75
C	標準的な追加要素を提示している提案	配点×0.50
D	C と E の中間程度	配点×0.25
E	要求水準のみを満足し、追加要素がない提案	配点×0.00

#### (2) ヒアリングの実施（非価格要素審査②）

- ア 非価格要素審査における評価を各委員は事前に個別で行うが、ヒアリングを実施して提案内容の理解を深め、評価内容の再確認を行う。
- イ ヒアリングに係る日時、場所、手法等の詳細については、後日入札参加者へ連絡する。

#### (3) ヒアリング結果による再評価（非価格要素審査③）

- ア ヒアリングの結果を基にして事業者選定委員会内で協議したのち、各委員で最終評価を行う。
- イ 素点評価点合計については、各委員が個別に行った合計評価点の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第 3 位を四捨五入した値とする。

表 2 評価項目と配点表

項 目			評価内容	重 要 度	詳 細 点	最終 配 点	評価基準（評価の視点）	A 評 価 1.00	B 評 価 0.75	C 評 価 0.50	D 評 価 0.25	E 評 価 0.00	
非 価 格 要 素	施設 整備・運 営の基 本方針	①周辺環境に 配慮した施設	1	温室効果ガス排出量の削減計画	2	1	2	・電力消費及び燃料使用に伴うCO <sub>2</sub> 排出量をどの程度削減する計画としているか。 ・施設の稼動に伴って発生する温室効果ガスについて、どのような削減計画としているか。	特に優れた追加要素を提示している提案	AとCの間	標準的な追加要素を提示している提案	CとEの間	要求水準のみを満足し、追加要素がない提案
			2	環境保全計画（排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等対策）及び要監視基準、運転基準の設定に関する計画		2	4	・環境保全対策（排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等）に関し、設備上及び運営上でどのような計画としているか。 ・公害防止基準値を遵守するためにどのような計画としているか。					
			3	敷地内緑化、施設内外のデザイン計画		2	4	・周辺環境と調和した施設となるために、どのような計画としているか。					
			4	寒冷地対策に関する計画		1	2	・本件施設で予想される積雪、凍結、結露、除雪などへの対応策を考慮した計画としているか。					
			計	—	—	—	12	—					
		②経済性に 優れた施設	1	用役節減計画	2	2	4	・用役使用量（電気、燃料、薬品、副資材等）の節減のため、設備上及び運営上でどのような計画としているか。					
			2	経営計画・事業収支計画		3	6	・運営事業の終了まで、財政的に健全な運営が可能な経営計画・事業収支計画となっているか。					
			3	地元貢献に関する計画（建設事業）		2	4	・建設工事において、地元経済の活性化に寄与する計画としているか。					
			4	地元貢献に関する計画（運営事業）		2	4	・用役及び資材等の調達において、地元経済の活性化に寄与する計画としているか。 ・雇用拡大を図り、長期にわたって雇用を確保する計画としているか。					
			5	事業運営計画（安定した事業運営の確保）		3	6	・運営事業者の倒産や第三者賠償などの想定されるリスク及び、リスクに対してどのような保険の付保を計画しているか。 ・資金調達支援、緊急時の人的・技術的支援、出資金額の設定などについて、どのような計画としているか。					
			計	—	—	—	24	—					
		③安全性、安定性に 優れた施設	1	ごみの量的及び質的変動への対処に関する計画	3	3	9	・ごみ量、ごみ質の一時的及び長期的変動に対して、安定かつ連続的な処理が可能となる具体的な提案がなされているか。					
			2	連続運転実績及び連続運転計画		3	9	・他施設での実績を踏まえ、連続運転を可能とするために、設備上及び運営上でどのような計画としているか。					
			3	施設の安全対策に関する計画		3	9	・事故等回避策、事故等発生時の安全対策及び安定稼働策について、過去の実例も含め、どのような対処方法を計画しているか。 ・設備機器が故障した場合の迅速な補修、改造、改善又は取替が可能な提案がなされているか。 ・予備機設置の考え方や設置箇所が適切な計画としているか。 ・安全管理上の創意工夫及び有効な危機管理体制について、どのような提案がなされているか。					
			4	安定稼働性や保守管理の容易性に配慮した設備計画		3	9	・補修時における利便性や容易性を考慮し、互換性を持たせた機器構成や機器点数として計画しているか。 ・使用環境に応じた材質の選択及び各種耐性を持った材質の利用としているか。 ・補修時において、特定部品の供給が安定的かつ速やかに行われる計画としているか。 ・点検、補修、更新等が安全かつ容易に実施できる機器配置及び作業動線計画としているか。					
			5	敷地内の安全計画、動線計画		2	6	・敷地内において車両動線と見学者動線が明確に区分した計画としているか。 ・安全で渋滞のない車両動線が確保できる計画としているか。十分な待車スペースが確保できる計画としているか。 ・施設内における見学者動線の安全が確保できる計画としているか。					
			6	点検、検査、補修、更新計画 （35年間の運営に配慮した計画の考え方）		3	9	・35年間の運営が十分可能となる計画的かつ効率的な点検、検査、補修、更新計画としているか。					
			7	人員配置計画及び安全管理計画		1	3	・提案する処理方式に精通した人員配置計画としているか。非常時においても有効に機能する安全管理体制とする計画としているか。					
			8	事業期間終了までの機能維持計画、運営期間終了後に組合が行う運営計画策定への協力に関する計画		2	6	・事業期間終了時において、基本的な性能を満たすことができる計画としているか。 ・事業期間終了後においても、新たな運営事業者が継続して運営可能となるような、円滑な業務引継方法を計画しているか。					
			計	—	—	—	60	—					
		④資源循環に 優れた施設	1	最終処分量削減計画	2	1	2	・最終処分量削減に対する具体的な提案及び提案を担保するため、設備上及び運営上でどのような計画としているか。					
			2	余熱を最大限利用した発電計画		3	6	・高効率発電（発電効率12%以上）の実現のため、設備上及び運営上でどのような計画としているか。					
			3	発電以外の余熱利用計画（発電後の廃熱利用計画） 自然エネルギー有効利用計画		1	2	・熱回収率向上策として、発電後の廃熱の有効利用先及び有効利用方法について、どのような計画としているか。 ・ごみ熱発電以外での自然エネルギー利用について、どのように計画しているか。					
			4	資源物回収計画		1	2	・粗大可燃ごみからの資源物回収や処理不適物についてどのような計画としているか。					
			計	—	—	—	12	—					
		⑤住民に 信頼される施設	1	地震、火災、停電時等の対応に関する計画	2	3	6	・非定常時（地震、火災、停電等）における対応策として、設備上及び運営上でどのような計画としているか。 ・その他浸水等災害に強い施設計画となっているか。					
			2	学習・啓発に関する計画		2	4	・小学生や一般見学者などの見学対象者の視点に立った見学ルート設定、引率・説明方法、見学場所、見学窓の配置になっているか。 ・本組合の環境事業情報の発信基地として、魅力的な提案となっているか。					
			3	環境報告書策定計画、情報公開方法に関する計画		1	2	・運営事業者が行う環境負荷低減策などの環境保全活動内容やそれらの情報公開方法について、どのような計画としているか。					
			計	—	—	—	12	—					
		非価格要素合計					—	—					
価 格 要 素	設計・建設業務入札額		設計・建設費	—	—	80	【価格要素の得点】＝80×最低入札価格／提案者の入札価格						
	運営・維持管理業務入札額		点検・補修費・用役費・人件費など										
	価格要素合計				—	—		80					
総 計					—	—	200						

## 4 総合評価

### (1) 総合評価得点の算出

「2 価格要素審査」及び「3 非価格要素審査」における各入札参加者の得点から、次の算定式により総合評価得点を算出する。

#### 総合評価得点

$$= \text{各入札参加者の価格要素得点} + \text{各入札参加者の非価格要素得点}$$

#### ※算出例

- ・ 価格要素得点                   : A社 80.00 点、B社 60.00 点、C社 70.59 点
- ・ 非価格要素得点               : A社 75.00 点、B社 80.00 点、C社 85.00 点

$$\text{入札参加者Aの総合評価得点} = 80.00 + 75.00 = 155.00 \text{ 点}$$

$$\text{入札参加者Bの総合評価得点} = 60.00 + 80.00 = 140.00 \text{ 点}$$

$$\text{入札参加者Cの総合評価得点} = 70.59 + 85.00 = 155.59 \text{ 点}$$

### (2) 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。